

錦江湾横断交通ネットワーク

観光視点から見た道路建設の意義

令和6年11月25日(月)

自己紹介 寺田 秀人

- 1951年 鹿児島県垂水市生まれ
- 1970年 都市センターホテル(本社 リーガロイヤルホテル)入社
- 1975年 THE MAY FAIR HOTEL入社
- 1979年 鹿児島サンロイヤルホテル入社
- 2014年 鹿児島県旅行業協同組合
- 2015年 公益社団法人鹿児島県観光連盟
- 2022年 垂水市観光協会観光アドバイザー
鹿児島ホテル短期大学

本日のレジュメ

- 国内観光の視点
- インバウンド観光の視点
- クルーズ船観光の視点
- まとめ

国内観光からの視点

地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数

(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
令和4年	6,142,088	1,563,202	2,698,717	2,224,194	1,456,982
令和3年	6,361,687	1,678,287	3,244,050	2,705,435	1,671,696
前年比(増減率)	-3.5%	-6.9%	-16.8%	-17.8%	-12.8%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
令和4年	307,434	317,120	1,049,189	2,138,543	17,897,460
令和3年	300,403	243,381	1,000,905	2,145,916	19,351,760
前年比(増減率)	2.3%	30.3%	4.8%	-0.3%	-7.5%

国内観光からの視点

■ 地区別延べ宿泊者数+地区別延べ日帰り客数の構成比



※大隅半島は本土では最も観光客の入込が少ない

国内観光からの視点

	手配	移動手段
<ul style="list-style-type: none"> • 団体客 <ul style="list-style-type: none"> 一般団体・教育旅行 スポーツ団体・募集团体等 	旅行会社	公共交通機関 バス
<ul style="list-style-type: none"> • 個人客 <ul style="list-style-type: none"> 若者・家族・親族 一人旅・ビジネス客等 	直手配	公共交通機関 車・バイク等

※ 横断道路ができれば団体客・個人客ともに利便性が高まり大隅半島への観光客の流れが出来てくる。

国内観光からの視点

垂水市の観光について

★ 道の駅を拠点とした観光素材

① 道の駅たるみず 湯っ足り館(道の駅ランキング県内トップ)



昨年の入込数 — 47万人

桜島港から約25分

空港から約50分

最大の特徴は

長い足湯に浸かりながら桜島の火口眺められる。運が良ければ野生のイルカも見れる。

国内観光からの視点

② 道の駅たるみずはまびら(6年前にオープン)



昨年の入込数 — 77,8千人

垂水港から約5分

桜島港から約30分

特徴

桜島と薩摩富士と呼ばれる開聞岳が見え、サップやウェイクボードなどのマリンスポーツができる。

マリオットホテルグループのFairfield by Marriottが隣接

国内観光からの視点

体験コンテンツ

1, 猿ヶ城溪谷



入込数 — 20万人

2, カンパチの餌やり体験



入込数 — 約1,800名

※ 垂水は民泊とスポーツ合宿も盛んで、横断道路ができればさら観光客増が見込まれる。

国内観光からの視点

- ・横断道路ができれば24時間いつでも往来が可能となり 自由な旅行計画が立てられる。
- ・鹿屋、志布志、佐多岬等への観光客の増加も見込める。
- ・大隅半島の観光地や和牛日本一などの情報を大隅全体で発信する必要がある。
- ・大隅半島から県内・県外への移動が短縮されることで県全体への観光地での滞在時間が長くなり経済波及効果大きい。
- ・住民・観光客の救急搬送も時間に関係なく行える。

インバウンド観光からの視点

(4) 地区別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

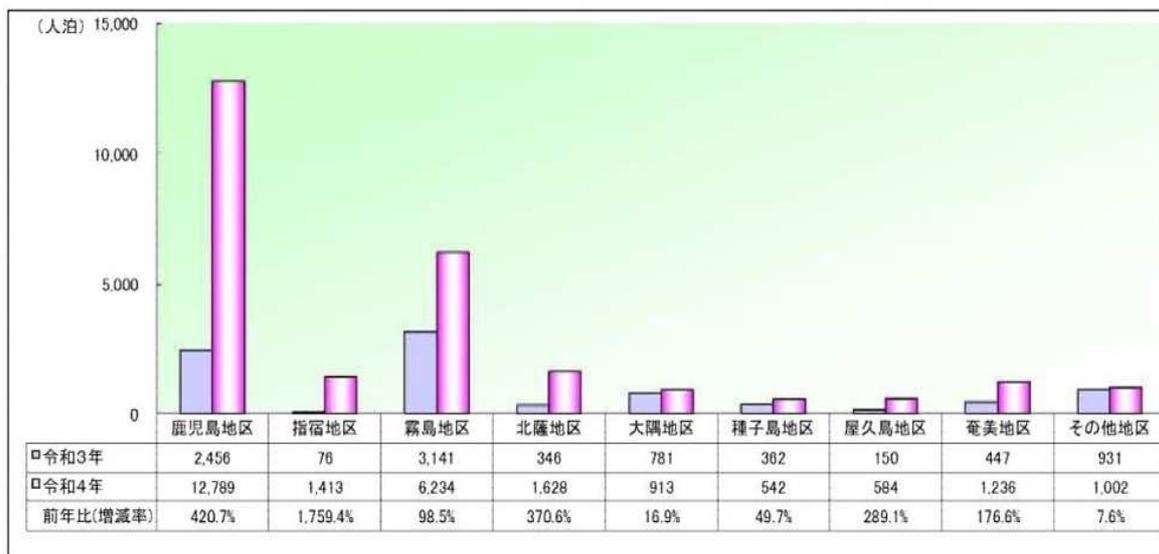
令和4年の地区別外国人延べ宿泊者数は、すべての地区において前年を上回り、全体としては前年比203.5%の増加となった。

(人泊)					
	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
令和4年	12,789	1,413	6,234	1,628	913
令和3年	2,456	76	3,141	346	781
前年比(増減率)	420.7%	1,759.4%	98.5%	370.6%	16.9%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
令和4年	542	584	1,236	1,002	26,340
令和3年	362	150	447	931	8,680
前年比(増減率)	49.7%	289.1%	176.6%	7.6%	203.5%

※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数で比較

インバウンド観光からの視点



※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数を用いて作図

インバウンド観光からの視点

速報値で	全体	外国人観光客
令和5年	8, 152, 790	(361, 550)

令和6年(1月～7月)

4, 409, 300 (338, 300)

今年は残り5カ月が加わると全体で前年は上回る外国人の増加が見込まれる。

インバウンド観光からの視点

2019年の鹿児島直行便路線と現在

ソウル 一週15便(現在週10便)

香港 一週10便(現在週3便)

台湾 一週 5便(現在週2便)

上海 一週 2便(現在週2便)

32便 現在17便

インバウンド観光からの視点

- ・ コロナ前2019年32便 現在は17便で約半分である。
便数が増えれば確実にインバウンドは増える。
- ・ 全国ではすでに2019年を超える勢いで増えている。
都市部の増加を国主導で地方に向ける施策を実施
- ・ 九州一周だと6泊7日(福岡IN,OUT)大分、宮崎、鹿児島、熊本、佐賀、福岡で回っている。
- ・ 直行便の増加で外国人観光客は確実に増える。
- ・ 個人客は一般的な観光スポット以外のところを回りたいがる。

クルーズ船観光からの視点

鹿児島港が全国3位の寄港数

図表6 外国船社が運航するクルーズ船の我が国港湾への寄港回数

順位	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	博多	99	博多	245	博多	312	博多	309	博多	263	那覇	251	那覇	17	—	—	—	—	横浜	101
2	長崎	70	長崎	128	長崎	190	長崎	262	那覇	236	博多	205	博多	14	—	—	—	—	長崎	95
3	石垣	69	那覇	105	那覇	183	那覇	217	長崎	215	長崎	178	石垣 長崎	9	—	—	—	—	鹿児島	78
4	那覇	68	石垣	79	石垣	91	石垣 平良	129	平良	142	石垣 平良	146	—	—	—	—	—	—	那覇	72
5	横浜	48	鹿児島	51	平良	84	—	—	石垣	105	—	—	横浜 佐世保 鹿児島 平良	3	—	—	—	—	博多	59
6	神戸	32	神戸	42	鹿児島	80	鹿児島	98	佐世保	105	鹿児島	95	—	—	—	—	—	—	広島	58
7	小樽	31	横浜	37	佐世保	62	佐世保	82	鹿児島	96	横浜	87	—	—	—	—	—	—	神戸	54
8	鹿児島	29	佐世保	34	横浜	40	八代	65	横浜	70	佐世保	77	—	—	—	—	—	—	清水	53
9	函館	27	広島	25	広島	34	横浜	57	神戸	66	神戸	63	神戸	2	—	—	—	—	高知	51
10	釧路	21	大阪	18	神戸	32	境	56	広島	44	大阪	57	中城湾 鳥羽 大阪	1	—	—	—	—	大阪	46
	その他	159	その他	201	その他	335	その他	609	その他	571	その他	627	その他	—	—	—	—	—	その他	597
	合計	653	合計	965	合計	1443	合計	2013	合計	1913	合計	1932	合計	66	合計	—	合計	—	合計	1264

クルーズ船観光からの視点

- ・クルーズ船は安定した寄港が予想出来るが、一方で交通渋滞や駐車場などの課題がある。
- ・鹿児島県は日本でも横浜・長崎に次ぐ三番目の寄港回数である。
- ・クルーズ船は大きく3つのカテゴリーに分かれる。

ラグジュアリー船(超富裕層)	200~300名	小型船
プレミアム船	(富裕層) 400~	中型船
カジュアル船	2000~5000名	大型船
- ・旅行のスタイルがそれぞれ違う。
シンガポールの富裕層の話

※ 横断道路ができれば大隅半島への観光が可能になる。

錦江湾横断交通ネットワークの意義(まとめ)

- ・鹿児島県は観光ポテンシャルが高い。
 - ・2つの世界自然遺産があるのは鹿児島県だけである。
 - ・日本ジオパークに認定
霧島、桜島・錦江湾、三島村・鬼界カルデラ
 - ・アクセスが良くなることで自由な旅行計画が立てられる。
 - ・本土最南端の佐多岬、雄川の滝、内之浦宇宙観測所、志布志湾沿いの古墳群
日本一の黒牛、黒豚、養鰻、ブリ、勘八など観光素材が豊富。
 - ・観光は裾野が広く観光客が消費する経済効果は観光業界のみならず
農林水産業から物流まで幅広く影響して雇用にもつながる。
 - ・今後確実に増加が見込めるインバウンドを取り込むためにも横断道路建設
は必要である。
 - ・人口減少が全国的に問題になっている中で将来の子供たちのためにも
建設は重要であると考えます。

参考

香港

約2kmの海底トンネルが3か所ある。

同時に全長約30mのスターフェリーが8分から15分間隔で運行している。

イギリスとフランス間のドーバー海峡

総距離(50, 5km)、海底部分(37, 9k)

青函トンネル

総距離(53, 85km)、海底部分(23, 3km)